満州の鉄郵印

黒原（くろはら）　和男（かずお）（大阪府）⑤

ロシアは、モスクワとウラジオストックを鉄道で結ぶために、ザ・バイカルから中国領土内を直進してウスリー川に出る路線を計画した。1897年に東清鉄道株式会社を設立し、1901年に哈爾濱から綏芬河のウスリー鉄道に接続し、1902年２月に満州里でザ・バイカル鉄道に接続した。日露戦争に勝利した日本は、1905年のポーツマス条約でロシアから東清鉄道の南満州支線とその付属地を割譲された。1906年に南満州鉄道株式会社を設立した。1932年に満州国が建国されると、満鉄付属地は満州国に移譲された。このように満州の鉄道は、ロシア、中国、日本、そして満州国の利権が入り乱れた鉄道なのであった。